

下呂温泉分析表

成分

一 源泉名 下呂温泉

(幸田研究所)

二 泉質 アルカリ性単純温泉

PH 九・一八

三 泉温 源泉 摄氏 五十五度

使用位置四十二度

四 温泉の成分

本泉水一kgに含有する成分及びその分量

成分	Na+	K+	Ca ²⁺	(陽イオンの総計)	Cl ⁻	S ₂ O ₃ ²⁻	SO ₄ ²⁻	HCO ₃ ⁻	CO ₃ ²⁻	(陰イオンの総計)	逆雑硫化水素	(溶解ガス成分の総計)	成成分総計
ナトリウムイオン	ミリアラム			一一・二〇						一六・七・七			(一) 一・三
カリウムイオン		ミリアラム		一・〇						四・八・三			(二) 〇・〇
カルシウムイオン			ミリアラム	一・九						一・一・三			(三) 〇・〇
(陽イオンの総計)				一二・一〇						二二・七三			(四) 〇・三
塩化物イオン					七五・六					一・一・三			〇・三二四%
硫酸水素イオン					〇・二					〇・二			
硫酸イオン					一〇・七					四・五五			
炭酸水素イオン					三・七					〇・五二			
炭酸イオン					三三・九					三・四〇			
(陰イオンの総計)					一一・三					一〇・〇〇			
メタ亜硫酸					〇・一					〇・〇〇			
メタケイ酸					六二・一					〇・八〇			
メタ珪酸					五・四					〇・一			
(非溶解成分の総計)					六七・六					〇・九二			
溶解物質(ガス性のものを除く)					(一) 二・三					〇・三二四%			
逆雑硫化水素					一・三					〇・〇			
(溶解ガス成分の総計)					一・三					〇・〇			
成成分総計					(一) 二・三					〇・三二四%			
その他の微量成分													
マンガンイオン													
アルミニウムイオン													
鉄(II)イオン													

禁忌症及び適応症

一 禁忌症

浴用

一般的禁忌

急性疾患(特に熱のある場合)、悪性腫瘍、活動性の結核、重い心臓病、呼吸不全、その他一般の病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)

二 適応症

浴用

神経痛、筋肉痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔、冷え症、疲労回復、病後回復期、健康増進

三 浴用上の注意事項

- 入浴時間 飲食直後と空腹時及び疲労時に入浴しないこと。
- 入浴回数及び入浴時間 一日二〜三回、一回十分位とし、なれるに従って延長し二十分までとする。
- 入浴中は、安静をとり入浴後、一定時間の休息をとる。
- 高度の動脈硬化症、高血圧症については、高温浴(四十二度以上)は禁忌とする。
- 熱い温泉に急に入ること、脳貧血を起すことがあるので、入浴前、身体を湯で温め、また頭部は湯をかけたから浴槽に入るのが良い。
- 飲酒しての入浴は特に注意すること。

五 温泉の分析年月日

平成十六年十月五日

六 登録分析機関

岐阜県保健環境研究所
岐阜県第一号